



千葉動力車

組織破壊の配転弾劾!

12.3ストの万然たる準備体制を!!

十一月二十五日千葉支社は、館山運転区と勝浦運転区において十二月ダイヤ改に伴う要員削減を前提とした配転の事前通知を強行している。

しかし十二月ダイヤ改をめぐる団体交渉は、未だ何一つ決着しておらず、われわれは断じてこの暴挙を許すことは出来ない。

とりわけ館山運転区、勝浦運転区における要員削減の提案は、何ひとつ合理的な根拠もない二五五系特急列車行路の業務移管と無謀なローカル線切り捨てを理由としたものであり、断じて許されないものである。

団交においても何ひとつ合理的根拠を示すことが出来ない千葉支社

この間、千葉支社が団交でしめした回答は、

われわれが、「二五五系の運転拡大については、異常時対応を重視する観点から、館山運転区、勝浦運転区の乗務担当とすること。」と要求したことに対し、唯一「訓練車両がなかったから、訓練が出来なかった」との回答である。(日刊四〇九一、四〇九二既報)

しかし、二五五系の運転拡大計画は、九月の十二月ダイヤ改提

案以前より解っていたことは明らかだ。いくらでも訓練は出来たはずである。(八六年三月ダイヤ改における東京への業務移管の時は、どんなに無謀な訓練であろうが行なってきたのだ。)

ましてや当局の合理性から言っても、二五五系を京葉運輸区のみで乗務担当とするのではなく、同系列車が乗り入れる館山・勝浦方面に館山・勝浦運転区があるのだから、乗務を分担すれば行路の作成も効率性が上がり、異常時の対応もよりスムーズとなることは明らかだ。

組織破壊目的の業務移管と要員合理化・配転攻撃

結局、この攻撃は、地域の住民の足を奪う無謀なローカル線切り捨てと合わせ、要員削減と削減に伴う配転によって動労千葉の拠点＝館山支部、勝浦支部を揺さ振る組織破壊攻撃なのである。

われわれは、この配転攻撃を断じて許さない。

二五日、われわれは、この配転攻撃に対し、直ちに千葉支社への団交を申し入れた。

一二・三ストを背景に不当な配転攻撃を許さない体制を構築しよう!

12.2 動労千葉総決起集会に総結集を!!

一二・三ダイヤ改阻止闘争が重大な山場を迎えている。

今次ダイヤ改の最大の特徴は、すでに明らか通り、労務政策を優先させた、動労千葉潰しの組織破壊攻撃である館山・勝浦の業務移管＝二五五系特急行路の京葉への移管とセットになった、それに伴う強制配転攻撃である。

そしてこの攻撃は、半ば公然と出されてきている基地統廃合問題を視座に据えたものとして見なければならぬ。

さらに一二月ダイヤ改の問題点は、ローカル線の削減問題である。今次ダイヤ改の二〇〇Kmにも及ぶ切り捨てによって、わずかの一年半の間に六八本の列車が廃止されることになる。

まさにJRが日頃口にする、「鉄道の公共性」や「地域密着」などここには微塵もない。JR

当局は地域の足を切り捨てることも、地域の生活を破壊することも、一切顧慮せず、営利優先のもとに押し潰し平然としているのだ。

われわれは、今次一二・三ダイヤ改を絶対に容認できるものではない。問題の根幹が、分割・民営化の反動的再編攻撃として出てきている以上、われわれの闘いも戦略性に貫かれた闘いとして勝ちとらなければならぬ。

全組合員は、一二月二日、千葉市文化センターで開催される、「一二・三ダイヤ改合理化粉碎、動労千葉総決起集会」に全力結集しよう!

一二・三ダイヤ改合理化粉碎!

動労千葉総決起集会

【日時】 一二月二日(金) 一八時〜

【場所】 千葉市文化センター

セミナー室(千葉パルコ前)

ダイヤ改阻止へ全力結集を!